

いかに社会貢献をなすか

# 「建学の精神」開花させよう



▲ 卒業生を代表して謝辞を述べる井上大輔さん

## 09年度卒業式・学位記授与式

2009年度の専修大学卒業式・学位記授与式が穏やかな晴天に恵まれた3月22日、東京・千代田区の日本武道館で行われた。学部卒業生、大学院修了生、専門職大学院(法科大学院)修了生あわせて4191人が晴れの日を迎えた。学位記、川島記念賞が各総代に贈られたあと、日高義博学長が式辞を述べた。卒業生、修了生を代表して井上大輔さん(法学部・政治学科)は「夢」を持つことが、先行きの見えない日本を変えていく原動力になるのではないかと、これまで私たちを支えてくれた多くの人がいたからこそ、夢を描いて走り出すことができる。素晴らしい出会いを与えてくれた専修大学に感謝します」と謝辞を述べた。

# 一三二一専修

専修大学 ホームページ

http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行  
(定価一部90円)  
発行所  
専修大学広報課  
〒101-8425  
東京都千代田区  
神田神保町3-8  
☎03-3265-5819(直)

## 卒業・修了記念特集

- 3 定年退職される先生方からのメッセージ
- 4 川島記念賞受賞者、大学院・法科大学院修了生総代
- 5 卒業式・学位記授与式フォト特集
- 6 We Love Senshu - 卒業生・修了生が語る専大で得たものは……
- 7 石巻専修大学 学位記授与式/川島賞受賞者/学生表彰
- 8 北海道短大 卒業式/学長賞受賞者/体育系クラブ表彰



学長式辞 日高 義博

## 自己を省察し人格を磨く

厳しかった冬も遠のき、春風を感じるこの日、本武道館におきまして、学部の卒業式および学位授与式を挙げてまいりました。慶賀の至りです。研鑽の効あって所定の学位を取得されたことに、心からお祝い申し上げます。専修大学は、昨年9月に創立130年を迎えました。これまでさまざまな展開が展開されました。生田キャンパスの130年記念館(生田10号館)には、創立者である相馬永胤、田尻稲次郎、目賀田種太郎、駒井重格の4先生の胸像が学生の日常的な生活空間に溶け込むように据えられました。専修大学の前身である「専修学校」は、明治13年に創立されました。創立者たちは、幕末の動乱の中にあつていかに社会貢

献をなすかにかかっています。専修大学の教育の真髄は、卒業生が「建学の精神」を社会において花開かせるかという点に求められるのであり、本学は皆さんと一生にわたる強い絆を持続します。130年の歴史と伝統を有する専修大学で学んだことに自信と誇りを持ち、明日の専修大学の歴史を作るのは自分達だという気概を持って、学窓を飛び立ってください。このからの生き方が本当の勝負どころです。自ら問題を発見し、それを解決する力、主体的に解決する知力、すなわち社会知性を身につけていなければ、いかなる難局にあつても自分の道を歩かすことができません。豊かな人間性と確たる倫理観を持った専修人として、常に自己を省察し、人格を磨いてください。田尻稲次郎先生は「士魂商才」という揮毫を残されています。田尻先生は、大蔵省、会計検査院などに深くかかわられたので、「士魂商才」という言葉には重みがあります。田尻先生は、東大でも財政学を講じられたので、その講義を、後に本学の2代学長になられる阪谷芳郎先生、それに「武士道」の著者である新渡戸稲造も聞いています。最近の経済活動の混乱を目の当たりにしますと、財界においてもサムライ・スピリッツが必要だという田尻先生の言葉に迫力を感じます。また目賀田種太郎先生も、留学中の生活を振り返って「礼節の軌道を離る可からず」という言葉を残されています。初代学長の相馬永胤先生にしろ、駒井重格先生にしろ、その生き方にサムライ・スピリッツが染みこんでいます。利害や打算ではなく、信義や礼節を弁えて物事を処理し、そして自分に課せられた責務を粛々と果たし、そこはかとなく光を放つこと、このような生き方を専修人の先達たちは示しています。皆さん、どのような分野に進もうとも、専修スピリッツを忘れることなく、時にはひそやかに、時には華々しく、されど凛として自分の道を歩いて行ってください。皆さんの今後の活躍と発展を期待し、第15代学長の式辞といたします。

△要旨▽

## 神田キャンパスに100年ぶり復元 学生や地域の皆さんの憩いの場に



▶ 学生たちが明治時代の衣装を着て「黒門」開門に花を添えた

## 「黒門」

明治時代に専修大学のシンボルだった「黒門」が、神田キャンパスの一角におよそ100年ぶりに復元され、除幕式が3月16日に行われた。吹奏楽研究会の学生が「エルザの大聖堂への行進」をオープニングで演奏。「黒門」が本学の正門となった1885(明治18)年当時の衣装を身にまとった演劇研究会の学生が入場し、雲間気を盛り上げた。「黒門」は本学創立130年を記念し、学生のご父母で組織する育友会がモニメントとして寄贈したもので、学生や近隣の皆さんに歴史を感じ、憩いの場として利用してもらえよう、午前8時から午後8時ごろまで開放する。(14面に記事)



社会知性の開発をめざす  
専修大学

シンボルマーク  
「S」の字は、専修大学の「S」と21世紀ビジョン「社会知性(Socio-Intelligence)」の開発を象徴するものであり、ブルーは大海原をイメージした。それが、地球に見立てた緑の丸を包み込んでいる姿は、専修大学で「社会知性」を育んだ人材が世界に輩出され、大海原のように激しく変化する国際社会を支えている様子を表現。また、地球を表す丸は、本学のスクールカラーを使用した。